

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

# みどりが丘小だよ

令和5年3月15日発行  
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校  
ホームページ



## ～別れの季節～

校長室には、開校から30年の歴史を感じさせる、たくさんの『お宝』が眠っています。書棚には、開校からの卒業アルバムがしまっていてあり、私はその中から平成8年度のアルバムを手に取りました。私が担任していた卒業生のアルバムです。1ページずつめくるたびに、26年前の記憶が鮮明によみがえります。そこには33歳の若さあふれる私の姿がありました。あの頃、子供たちと一緒に走り回り、泥だらけになって日々を過ごしていました。今は写真などもデータとして保存することが主流になりましたが、アナログもいいものだなあとしみじみ思います。

先日、在校生による、「6年生をおくる会」が行われました。「みどりっこ班」や登校班、委員会やクラブ活動などでリーダーとして活躍した6年生に感謝の気持ちを込めて、班ごとに遊んだり、プレゼントを渡したりしました。

3月は「別れの季節」。それは新たな門出を祝う、めでたい別れでもあります。今、学校は卒業式に向けて準備を進めているところです。卒業生の門出にふさわしい式となるよう努力したいと思います。

今年度も本校の教育活動に際し様々な面でご協力下さった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

## 生き生き教育活動

<授業参観>



今回は、コロナ禍となって初めて一斉の授業参観となりました。大勢の保護者の方々が、我が子を愛おしそうに眺めていました。

<6年生をおくる会>



5年生が中心になって計画を立て、進行了ました。

ゲームをしたり、プレゼントを渡したりする中で、恥ずかしそうにしている6年生の姿が印象的でした。

在校生の感謝の気持ちが十分に伝わる会となりました。5年生、大変よくできました。



## ～年度末における転居等の届け出について～

\* 4月は学校だけでなく職場など、様々な面で新しいスタートとなることの多い季節でもあります。それに伴い、転居による児童の転出入が多い時期でもあります。先月号でもお伝えしたとおり、本校はどの学年も70名前後であることが多いため、2クラスになるか3クラスになるかが微妙な学年があります。

先月お伝えした各学年におけるクラス数では、現1年生において変更が生じました。先月は3クラスとお伝えしましたが、人数減により次年度は2クラスとなる予定です。

この時期は転出入に伴う学年の児童数が変動する時期でもあります。

転居等による転出の可能性がある場合は、早めに学校までお知らせいただくと助かります。

### <校長のつぶやき>

### ～最近のささやかな楽しみ～

今、私が楽しみにしていること。それは、昇降口に提示されている、6年生の『卒業までのカウントダウン』です。

その中で、私が楽しみにしているのは、「卒業まで、あと〇〇日」の下にある「みなさんへのメッセージ」です。



「在校生のみんなへ。みどりっ子班共遊やピアサポート活動が楽しかったです。新型コロナウイルスで活動する機会が少なくなってとても残念でした。ぼくたちが卒業しても元気に過ごしてください。今まで本当にありがとうございました。」

「先生方へ。6年間いろいろお世話になりました。先生方がいなければ、ここまで成長することができませんでした。本当に感謝しています。ぼくたちが卒業しても元気にお過ごしください。」

そこに綴られているのは、在校生や先生方への感謝の言葉です。1日ごとによって変わっていく、6年生一人一人からのメッセージを見ると、ランドセルが重たそうにしていた、あの小さな子供たちが、こんな立派なことを書けるようになったのかと改めて感心する毎日です。

そういえば私が6年生を担当していた中で、特に指導が大変だったクラスがありました。毎日のようにどこかでケンカが起こり、仲裁に入ると私まで殴られてしまうような、そんなエネルギーを要するクラスでした。

卒業式当日、子供たちが学校にいる間は決して涙を流さず、笑顔でいると決めていました。式の呼名中、子供たちが立派に証書进行姿をみると、どうしてもこみ上げてきてしまい、必死に我慢していたら鼻水があふれてしまったことがありました。きっと、子供たちには強い先生でありたいと思っていたのでしょう。

でも、卒業式が終わり、子供たちも帰って誰もいなくなった後、教室に戻ると、「先生！ありがとう」の落書きを見て、ボロボロ涙を流していたのを今でも思い出します。

そんな私も、自分自身が来年度で卒業します。

果たして、そのときにはどんなことを思っているのでしょうか？

